



日野市立日野第四小学校

校長 三浦 寛朗

令和6年7月号

学校 Web ページ



学校標語 「夢中になれる 夢中にさせる 日野四小」

<https://www.hino-ky.ed.jp/e-hino4/>

みんなのことを考える力

校長 三浦 寛朗

6月21日(金)、気象台から「関東甲信地方が梅雨入りしたとみられる」と発表がありました。平年より14日、昨年より13日も遅い、梅雨入りの発表です。関東甲信地方で、これまで最も遅かった梅雨入りは1967年と2007年の22日ごろで、過去2番目の遅さとなりました。梅雨入りが遅れたものの、梅雨明けも遅れるとは限りません。気象庁は6～7月の東日本の太平洋側の雨量を「ほぼ平年並み」と見込んでいます。短い梅雨の期間に激しい雨が続く可能性もあるそうです。短期間で大量の雨が降ると、災害の危険が急激に高まる恐れがあります。本校の近くには多摩川があります。また、通学路には用水路なども見られるため、子供たちに、雨が降っているときや降った後には川や用水路には近づかないように指導しています。ご家庭でもお子さんへの声掛けをお願いします。

猛暑にも警戒が必要です。気象庁によると、6～8月にかけての3か月の気温は全国的に高い見込みであり、北日本、東日本、西日本の全てにおいて平均気温が高くなるということです。ちなみに今年の4月は全国的にかなり気温が高く、北日本、東日本、沖縄・奄美では統計開始以降、4月として1位となる高温となっていました。今年の夏は「観測史上1位の暑さ」になるとも言われており、昨年度を上回る暑さになる可能性があるそうです。学校では校庭、体育館、プールで暑さ指数(WBGT)を計測し、安全を確認したうえで教育活動を行っています。また、こまめな水分補給と状況に応じてマスクを外すように声掛けしています。マスクを着用していると、熱中症リスクが高まります。ご家庭でも暑いときにはマスクを外すようにお声掛けください。

さて、学校だより6月号でお知らせしたとおり、6月は「ふれあい月間」でした。この期間、3回の全校朝会がありましたが、校長講話で次のような話をしました。

6月3日 「言葉遣いに気を付けよう」

6月10日 「自分からすすんで元気に挨拶をしよう」

6月24日 「人のためになることをすすんでしよう」 ※詳しくはお子さんに聞いてみてください。

子供たちの様子を見てみると、全校朝会で話したことをきちんと覚えていて、行動に移してくれる子がとても多く、うれしく感じます。言葉遣いの話の時には、「最後に『です』や『ます』を付けて、丁寧な言葉も使いましょう」ということも話したのですが、すぐにこんなやり取りを子供とすることができました。

～ある教室で、授業の様子を見ているときに～

三浦 「Aさん、なんの勉強をしているの？」

Aさん「算数！」

Bさん「Aさん『算数です』だよ。校長先生、言ってたじゃん。」

Aさん「算数です。」

三浦 「算数は好きですか？」

Aさん「好きです！」

三浦 「丁寧な言葉遣いができましたね。」

子供たちの吸収力、そして自分だけでなく、みんなで良くなっていくという力には、いつも驚かされます。6年生の日光移動教室でも、室長会議で決まった2日目の目標は「みんなのことを考えて行動しよう」でした。この目標は、教員から言われてこの目標を立てたのではなく、自分たちの行動を振り返って、何がよかったか、何を改善した方がいいかを話し合う中で決まった目標です。また、目標を立てて終わりではなく、自分たちで「みんなのことを考えようよ」と声を掛け合って行動しているところが、さらに素晴らしかったです。

ただ、このように周囲のことを考えることができるようになるには、普段からの声掛けが必要だと感じています。自分の行動が周りにどんな影響を与えるのか指導を受けること、自分で考えることを繰り返していくことで、視野が広がり全体のことについて考えられるようになっていくのだと思います。ふれあい月間は終わりますが、これからも子供たち一人一人が自分も相手も大切にできるように、教育活動全体で指導を続けていきます。ご理解とご協働をどうぞよろしくお願いいたします。